

としまみどりの防災公園（IKE・SUNPARK）の整備

東京都豊島区／令和2年竣工

日本有数の木造密集地域における防災まちづくりと平時の賑わいづくりの両立を図るプロジェクト。全国2例目のPark-PFI制度の導入により、大規模な芝生広場や防災倉庫、応急給水槽の設置等の防災機能の強化を図りつつ、カフェ、複数の小型店舗、ファーマーズマーケットの実施など、公民連携による新しい賑わいの形が実現されました。

公園整備においては、「設計施工管理運営一体型発注」とし、共同事業者（コンソーシアム）とすることを条件として公募し、Park-PFIの公募も一体的に実施されました。公園の運営面においては、地元関係者・地元企業・区・指定管理者からなる「としまみどりの防災公園をよくする会」を立ち上げ、地域との協働により公園の運営を行っています。

事業概要

所在地	東京都豊島区東池袋4丁目42番
土地面積	17,000.18㎡
事業主体	豊島区、(独)都市再生機構、日比谷アメニス・都市計画研究所・株木建設・NTTアーバンバリューサポートコンソーシアム
管理運営主体	指定管理者(日比谷アメニス・NTTアーバンバリューサポート共同事業者)
主要施設	芝生広場(約6600㎡)、管理棟(管理室・体験学習室・カフェ)、防災倉庫、事務室兼倉庫、小規模応急給水槽、深井戸、防災井戸、非常用トイレ、非常用発電機等
事業スキーム	防災公園街区整備事業、民間事業者コンソーシアム、Park-PFI制度、公園設置管理許可、指定管理者制度等

取組のポイント

- 大規模な国有地の利用転換にあたり、木造密集地域における防災まちづくりとともに、池袋駅周辺の4つの公園を核とした賑わいづくりに効果的に対応
- 設計施工管理運営一体型発注およびPark-PFI制度の導入により、財政負担を軽減しながら民間のノウハウを最大限に生かす「公民連携」によって公園利用者の利便性の向上と賑わいを創出
- 地域の活性化に貢献する「プレイヤーの育成」をコンセプトにファーマーズマーケットなどのソフト事業を展開。地域の活性化と新たな地方との共生に取り組む

